

燕市議会議長

中山眞二

年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、良き新年を迎えられ、健康で安らかにすごされていることと存じます。

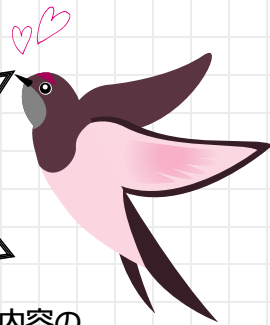
昨年、燕市議会では、24人中、議長・監査委員の一般質問を原則しない2人を除いて、平均19人が登壇し、一般質問を行いました。また予算・決算、その他行政から出された様々な議題、提案に対し、議論してまいりました。活発な質疑、意見が、当局から出された提案をさらに市民のためになるよう磨いていくものと信じております。

今年は戊年。さらに吠え、また協調性を持って市政運営に励み、市民目線に立ったわかりやすい、透明性のある議会となるよう努めてまいり所存であります。

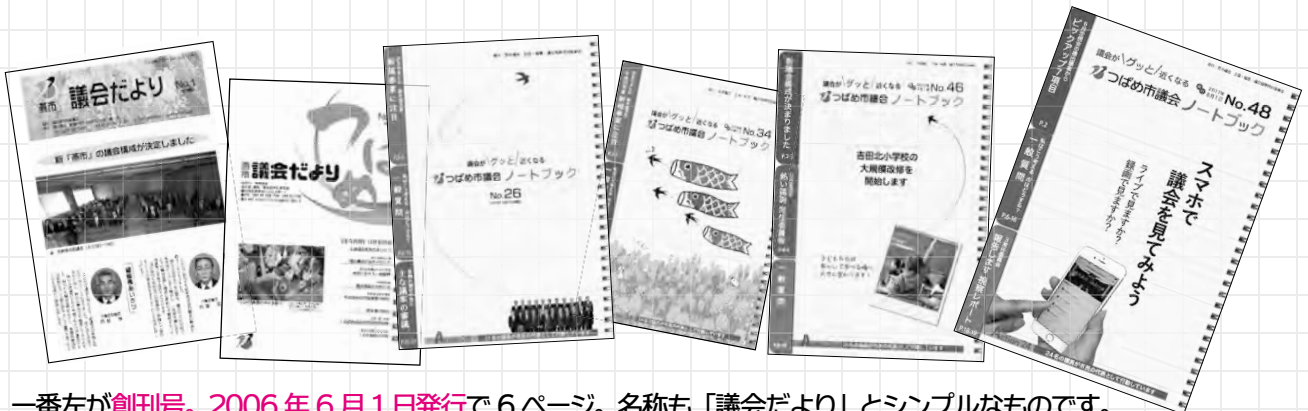
日頃より市政、議会活動に関し、ご理解とご協力を得ておりますことに心より感謝申し上げます、さらに研鑽に励み、市民生活が向上することをお誓いし、新年のご挨拶と致します。



50号を迎えました つばめ市議会 ノートブック



合併後、2カ月余りたって創刊された燕市の議会だよりは、何度か名称や表紙、デザインや内容のリニューアルを繰り返し、11年8カ月後の今号で、節目の50号を迎えました。
この間、編集委員を経験した議員は延べ32人。好例として『月刊広報』で紹介されたこともありました。



一番左が創刊号。2006年6月1日発行で6ページ。名称も「議会だより」とシンプルなものです。この時の委員は13人でした。2009年の12号(左から2番目)で表紙デザインを大幅に変更しています。今日まで続く燕市議会だよりの大きな分岐点であり、大きく変わったのが2012年発行の26号(左から3番目)。
今まで17市町村から視察に来ておりますが、これが関心を持って頂いている表紙の原型です。現在の名称に変え、非常に斬新なデザインになりました。

46号からは現在の委員が編集を担当。47号からはユニバーサルデザインフォントを採用しています。現在では、スマホやタブレットでも議会だよりが見られるようになりました。

